



上富良野町 の紹介



1 役場所在地 空知郡上富良野町大町2丁目2番11号

2 概要

〔地勢〕

北海道の中央、富良野盆地の北部を形成し、町域は東西24.6km、南北19.0km、面積237.18km²で、東に大雪山国立公園大雪山系の十勝岳（2,077m）、西に夕張山地の先端で芦別山塊といわれる山岳地帯、北に両山系の山麓と三面を山岳地帯に囲まれています。南には市街地が開け、市街地を囲んで牧歌的な丘陵地帯とカラマツ林の景観が続き、富良野盆地大雪山系の十勝岳連峰を源流とする富良野川、ヌッカクシ富良野川、ベベルイ川などが富良野盆地の平坦部に向けて流れています。

上富良野町は内陸部に位置し、周囲を山に囲まれているため、気温の日格差、月格差が大きい内陸性気候を示し、夏の最高平均気温が26℃前後、冬の最低平均気温は-15℃前後となります。年間降雨量は約1,000mm、年間積雪量は平坦部で約1m、山間部では2～3mに達します。

〔歴史〕

東部の台地には先住民族のいたところを示す遺跡があり、土石器が出土している。安政年間（1854年～1860年）の初め探検家松田市太郎、松浦武四郎らがこの地を踏査し、明治19年道庁設置の直後、植民地に選定され牧畜の最適地と認められていた。同30年富良野盆地の草分けの三重県団体の入植で開拓の斧と鋤が下され、やがて現在の上富良野と富良野間に鉄道が開通して、急速に人口増加の途をたどり農耕と牧畜の豊かな村として発展し、同36年に下富良野村（現富良野市）、大正6年には中富良野村を分村、同8年に1級村制の施行となった。同15年十勝岳は世界火山史上に例をみない大爆発を起こし泥流の山津波は二十数分で30km下の沃野、鉄道、人家を襲い死者144人の大惨事となったが、被災地の田畑は昭和3年には復旧、その後10余年で9分通りの収穫を得て復旧に成功した。また、戦前は軍用馬の産地としても栄え、戦後の昭和26年町制を施行し、同30年陸上自衛隊の演習場設置と部隊駐とんで、これまでの農村中心の町から商業などがめざましく伸長して、現在では農村部、都市部のバランスのとれた町に成長している。

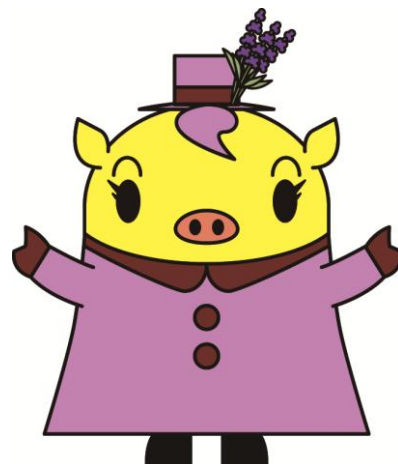
3 人口 11,301 人 （平成26年3月31日現在）

4 面積 237.18 K²

5 特色

上富良野町は、北海道の中心部大雪山系十勝岳連峰の西側に位置し、雄大な十勝岳と丘陵田園の景観が美しく、明治30（1897）年の開拓以来、農業を中心に発展してきており、わが国で初めて、農作物としてのラベンダー耕作を昭和23（1948）年から始めている農業と観光のまちです。

また、昭和30（1955）年には陸上自衛隊が移駐し、現在では自衛隊員とその家族が町民の約30%を占め、農業と観光に並んでまちづくりの3本柱として位置付けられ発展してきました。



町の西部は平野で畑などが広がり、国道 237 号、JR 富良野線が南北に走り、市街地は旧国道である道道沿いに延び、市街地の南に町役場を中心に公共施設が集中し、その周辺に住宅地が広がって人口も集中しています。東部は十勝岳を中心とする山岳地帯。眺望で有名な十勝岳温泉と、「北の国から」のロケで一躍有名になった吹上温泉があります。十勝岳は数十年周期で噴火を繰り返す活発な火山で、大正 15(1926)年、昭和 37(1962)年、昭和 63(1988)年には十勝岳が噴火し、特に大正 15 年の噴火では大泥流により死者・行方不明者 144 名（上富良野町 137 名、美瑛町 7 名）という大きな被害が出ています。

上富良野町は『四季彩のまち・かみふらの 一風土に映える 暮らしのデザイン』を総合計画の将来像と定め、まちづくりを進めています。

「四季彩」とは、上富良野の四季を彩る、紫（ラベンダー、ハスカップ、じゃがいもの花、ジャーマンアイリス）、緑（ホップ、広大な牧草地、アカエゾマツ林）、黄（稲穂、ひまわり、小麦、とうもろこし）、赤（北の大文字の色、十勝岳の紅葉）、白（十勝岳の雪、ミルクの色、春一番のキタコブシの花）など、豊かな色彩の自然、産業、人々の活動が織りなす、美しいまちづくりを表しています。

- 観光スポット 深山峠トリックアート美術館 後藤純男美術館 日の出公園 見晴台公園
 フラワーランド 富田ファームイースト 千望峠 十勝岳温泉（吹上温泉）
- 特産品 かみふらのポーク・豚さがり・カミホロメロン・ラベンダー製品・ホップなど
- 開催イベント 7月20日 花と炎の四季彩まつり 10月 十勝岳温泉紅葉まつり 年末 北の大文字
 2月 かみふらの雪まつり 6月 十勝岳山開き

6 役場の組織機構

11 課 21 班体制でスタッフ制実施

町長部局 107 名、教育委員会 14 名、町議会 3 名、農業委員会 2 名、特別養護老人ホーム 14 名、水道部局 3 名、町立病院 46 名 計 189 名（H26.5.1 現在：派遣職員 1 名を除く）

7 先輩職員からのメッセージ

私は、高校を卒業したら就職する予定でした。地方公務員をめざした理由は、家の近くに北海道庁の出先機関があり、色々な“まち”の特色を宣伝してみたいと思ったからです。上富良野町を受験したきっかけです。受験のときは思ったような結果が出なかったり不安な日々を送りましたが、そのときに耐えることが、仕事に就いたときの業務や日常生活の糧になっています。

私は今、「総務課」という部署で職員の福利厚生や庁舎管理などを担当しています。自分が携わったことが町民の元に届いどこの町村を受けようか迷っている方は、ぜひ気分転換も兼ねて、気になる町村を訪れてみてください。そして、上富良野町が気になるあなた、上富良野町で一緒に働きましょう！（平成 23 年採用職員）

8 その他

ホームページアドレス

<http://www.town.kamifurano.hokkaido.jp/>

TEL (0167) 45-6400 FAX (0167) 45-5362

E-mail soumu@town.kamifurano.lg.jp

